

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	301教室
担 当 教 員		鎌田 麻美	実務経験とその関連資格	総合病院の内科・外科系の病棟で看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》							
看護の基本となる概念を体系的に理解し、保健・医療・福祉の広い視野で看護の機能、役割を理解する。また、人間理解を基盤とし、専門職業人としての倫理的態度を養う内容とする。							
《成績評価の方法と基準》							
出席(10%)、課題への取り組みと課題提出(20%)、筆記試験(70%)から総合的に評価する							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
テキスト		「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護学概論」					
サブテキスト		「看護覚書」					
《授業外における学習方法》							
事前にテキストを読み、分かることと分からないことを明確にして授業に望む。							
《履修に当たっての留意点》							
一つ一つの言葉の意味を考え、自分の言葉で表現できることを目指します。授業を通して看護への関心を高め各領域看護へ発展させて欲しいと思います。							
授業の方法		内 容			使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の対象である人間 とは何か。人間、命について考えることができる。		テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する	
		各コマにおける授業予定	人間について考える 成長発達段階の理論				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活者としての人間をとらえることができ地域看護の特性について説明できる。 健康とは何か説明できる		テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する	
		各コマにおける授業予定	生活者としての人間 地域看護 健康の定義 ヘルスプロモーション 職業としての看護				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護教育の教育体制や看護制度について説明できる。		テキスト 看護覚書	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する 夏季休暇の課題あり	
		各コマにおける授業予定	看護教育の新制度と教育体制 看護制度				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	継続教育、倫理とは何か説明できる。		テキスト 単看護の基本となるもの	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する	
		各コマにおける授業予定	看護者の就業状況と継続教育 倫理とは①				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	倫理やインフォームドコンセントについて説明できる。		テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する	
		各コマにおける授業予定	倫理とは② インフォームドコンセント グループワークオリエンテーション				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	倫理について事例をもとに自分の考えを述べることができる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	グループワーク・発表		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の役割と機能について説明できる。 インシデントレポートについて説明できる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	看護の役割と機能 医療事故		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ナイチンゲールの功績とナイチンゲールの看護の定義を説明できる。	テキスト	内容を予習・復習し、講義終了時に示す課題を実施する
		各コマにおける授業予定	ナイチンゲールDVD視聴・視聴後レポートまとめ		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			